

令和7年度 ちば学びサポーター養成講座

「ちば学びサポーター」とは、自らの学びを生かして地域の生涯学習を支える人材の方です。活動場所は、地域の社会教育施設（公民館、図書館等）で、講座の講師、企画者や運営の支援者としての活躍が期待されています。

【養成講座実施日】

第1回 講演1 令和7年 7月24日(木)

第2回 実習1 令和7年 8月26日(火)

令和7年 9月 7日(日)

令和7年 9月13日(土)

第3回 講演2 令和7年10月16日(木)

第4回 実習2 令和7年11月22日(土)



講 師
放送大学 教 授
岩崎 久美子 氏

【講座概況】

第1回は「講座の企画・運営のポイント、地域課題の検討」をテーマに、講座の講師として活動していくにあたり大切なポイントについて学びました。

第2回は、「ちば子ども読書の集い」・「さわやか青年教室」・「ちばアカデミア講座」のイベント及び講座のいずれかに受講者が参加し、運営補助等の実地実習を行い経験を積みました。

第3回は、「事業広報のポイント、企画書づくり」をテーマに、ちば学びサポーターとして関わる講座やイベントの企画方法について、グループワークを通して学びました。

第4回は、受講者全員が自ら企画した講座を発表し相互に研鑽・評価を行い、最後に講師の岩崎先生から講評をいただき全4回の養成講座を終了しました。



【グループで企画書の検討中】

【作成した企画を発表中】

【認定証授与後の記念撮影】

【受講者の声】

- ・地域に学びの場をつくる意義について、考える時間をいただいて感謝しています。挨拶ができるコミュニティや集いづくりが、社会教育の大切な目標になるのだとあらためて知りました。ファシリテーターの役割も勉強になりました。企画書づくりのポイントもわかりやすかったです。
- ・多彩な能力・実行力に驚きました。そういう方が集まってきたんだと思いますが1回の実習で聞けたことが有益で楽しかったです。
- ・実際の活動を見させていただき、自分自身の活動にも生かせる点が多くあったので参加できてよかったです。
- ・イヴァンさんの話、心に残りました。目の前のしきけの華やかさに目を奪われず、お互いの心が豊かであるかどうか、気に留めるようになりたいと感じました。先生ゆるやかで温かな雰囲気をつくってくださって感謝しています。